



# DEN

No.18

2016.5.12  
発行

作業療法を伝える  
NEWS&COMMUNICATION

公益社団法人 大分県作業療法協会 広報誌



## 心豊かに作業療法

CONTENTS - 特集:福祉用具・環境調整編 -

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 1 まんが作業療法物語 ~福祉用具・環境調整編~                     | 11 作業療法 啓発普及活動の紹介               |
| 6 教えて!作業療法「今すぐ役立つ自助具の紹介」                     | 12 九州理学療法士・作業療法士合同学会 2015 in 大分 |
| 7 インタビュー:松本 奈穂 氏 (株式会社フロンティア)                | 13 以心DEN心                       |
| 9 施設紹介:医療法人 小寺会 佐伯中央病院<br>臼杵市医師会介護老人保健施設 南山園 | 14 活動報告                         |



公益社団法人 大分県作業療法協会

まんが

# 作業療法物語

～福祉用具・環境調整編～



大野 節子

Aさんは、ALS(筋委縮性側索硬化症)と診断された50歳代の男性です

診断・治療を終え、自宅退院となりましたが、最近、身体の動きが悪くなり、訪問リハビリが開始となりました

初回訪問時

Aさんは、何も持たずに歩くことはできていました  
また、日常生活(排泄、更衣、入浴)も自力でできていました



最近の体の調子はどうですか?  
自宅で過ごしていて  
気になることはありませんか?

訪問リハビリを  
始めるにあたって  
達成したいことなどは  
ありますか?



調子は悪くないよ  
ただ最近、食事の時に途中で  
疲れてきてスプーンを落とす  
こともあるんだ  
だから休憩をしたり、  
妻に介助をしてもらったり…

まずは、食事を一人で  
完食できるようになりたいなあ  
あとは、  
なるべく今の状態を維持したいなあ

療子は疾患のことも考え、身体機能の改善だけでなく、Aさんの現在の力で自分でできる活動を支援していくことを目標に訪問リハビリを開始しました

さっそく次の訪問時に療子は自助具を持ってAさんを訪問しました



Aさん、今日の食事は  
このカフという自助具を使ってみましょう  
しっかり握らなくても固定できるので  
疲労も少ないと思いますよ

自助具とは、  
身体の不自由な人が  
日常の動作をより便利に、  
より簡単にできるように  
工夫された道具のことだよ

カフとは、  
手に装着してスプーンなどを  
取り付けることができるんだ!  
これでスプーンを握れなくても  
ごはんが食べられるよ



おっていー

※ALSとは、手足に力が入らなくなり、筋肉がやせていく病気です。次第に筋力低下が全身に広がり、体を動かすことや話すこと、食事、呼吸も難しくなります。現在、ALSの原因は不明で確立した治療法は見つかっていません。

他にもこの介助食器や滑り止めシートを組み合わせてみましょう

介助食器とは、すくいやすい工夫などがされている食器のこと

すくいやすい立ち上がり形状

こういうのがあるんだね自分で食事ができるって嬉しいな

滑り止めシートの上に食器を置くと、食器が滑らず、食べ物がさらにすくいやすくなる

あ、そういえば食事をしているとだんだん首がきつくなるんだよね何か楽にできる方法はあるかな?

それなら、この頸椎カラーをつけてみましょう首を動かさなくても食事ができるよう机の高さを少し高くしてみましょう

頸椎カラーは、首を固定するのことで頭の重さを分散させる効果もあるよ

机の高さを高くすると口元まで運ぶことが楽になるね

食事がしやすくなった!療子さん、ありがとう

最近、トイレの便座から立ち上がるのがきつんだよ妻は手すりを付ければ、いいんじゃないかと言ってるんだけど...

またある訪問日

Aさんの場合、握る力が弱くなっているので、手すりを付けても、うまく使えないと思います

住宅改修を行う場合や福祉用具を導入する場合の相談や提案も作業療法士の役割だよ

この補高便座を取り付けて立ち上がりやすくしましょう

数か月後…

そろそろ桜の季節ですね  
たまには気分転換に  
外出してみませんか？

そういえば毎年花見に  
行っていたんだけど…  
この手じゃハンドルを握れないし、  
最近は肩も上がりにくいから  
運転は無理だろうな

それならハンドルに  
旋回装置を取り付けましょう  
これならハンドルを握らなくても  
腕と肩の力で操作できますよ  
ハンドルの位置も低くして  
腕や肩にかかる負担も減らしましょうね

旋回装置とは片手でも  
ハンドルを操作することが  
できる装置だよ

Aさんの場合は、  
ハンドルを握れないから  
グローブに手をはめる  
タイプを使うよ

ハンドルの  
高さを下げると  
肩も少し楽になるよ

車の改造後には、  
教習所で運転の可否の評価や練習も行いました

※運転の可否については、公安委員会が臨時運転免許を受ける必要があります。  
この時、身体の状態によって安全に運転するために必要な条件の変更が行われることがあります。

この前、教習所で自分で  
シートベルトが閉めれなくて困ったんだ  
体の前までベルトがくれば  
自分でできるんだけど

シートベルトストッパーを付けると  
シートベルトが緩んだ状態から  
装着ができますよ  
カー用品を販売しているお店などで  
購入できます

へえー！  
身近なお店に  
そういうのが  
あるんですね

Aさんは妻と一緒に無事に花見に行くことができました

来年もまた  
この桜を  
見に来たいなあ

そうですね  
また二人で  
見に来ましょうね

2年後、Aさんの状態は徐々に悪化していきました

Aさん、  
花見の季節になりましたよ  
今年も花見を計画しましょう

もう車は運転できないし、  
外出は難しいと思うけど…

ご自宅の近くに桜が咲いている  
公園を見つけたんです  
奥さんと3人で行ってみましょう

公園まで歩いていけるかなあ  
途中で歩けなくなったら、  
迷惑をかけるよ

歩行器を使いましょう  
屋外用の歩行器を使えば、  
でこぼこ道も移動しやすいし、  
腰掛もついているので休憩をしながら  
ゆっくり移動できますよ

歩行器にもいろいろな種類があるよ  
この歩行器は屋外でも移動しやすいよ  
大きめのキャスター（車輪）がついているね

少しずつ体が思うように  
動かなくなって焦ってばかりだったな

後悔しないように  
今できることをしなきゃ!

さらに数年後、Aさんは寝たきりになり、自分で起きたり座ったり、身の回りのことができなくなりました。周りの人の支えやいろいろな在宅サービスを利用し、今も自宅で妻と一緒に暮らしています。

入浴などの介護は、妻だけでは、介助が難しいため、ヘルパーを利用し、一緒に介助をします。



ALSは話すことが困難になるため、文字盤などを使用してコミュニケーションをとります。



安心して在宅生活を送れるよう、自宅に往診し、医師が全身状態を確認したり、看護師がケアを行います。



作業療法は、心身機能の向上を図ることだけでなく、今ある力を最大限引き出せるよう、福祉用具や自助具の提案、住宅改修への助言を行いサポートします。



「できないこと」に目を向けるのではなく、「できること」を活かし生活行為の向上につなげることも作業療法士の大切な役割なのです。

# 教えて! 作業療法

## 今すぐ役立つ自助具の紹介

自助具とは、事故や病気などによる麻痺や、加齢による身体機能の低下が原因で、動作の困難さを補う為の道具や装置のことをいいます。作業療法士は、一人一人の日常生活動作（食事・整容・入浴・更衣など）や余暇活動を評価し、今ある能力を十分に生かすことができる**自助具の作成・選定**をさせていただきます。今回は、その中の一部を紹介します。

### お箸で食べ物を挟むことが難しくなった… そんな方にはこれ!!



バネがついてあり、少しの力でお箸の開閉が簡単に行え、食べ物を挟むことができます。最近では、100円均一のお店にも同じようなものが置いてあるよ。

### 片手が使えない、すくいきにくい… そんな方にはこれ!!



仕切りがついたお皿や、すくいやすいように側面に角度がついたお皿もあるよ！ お皿が滑りやすいときは滑り止めマットも一緒に使うともっと食べやすくなるよ！

### ボタンを留めにくい、靴下を上手く履けない… そんな方にはこれ!!



●**ボタンエイド(左)**  
細かい手作業が難しい方や、しびれがある方などに使用します。

●**ソックスエイド(右)**  
足先まで手が届かない方には事前にセットした靴下に足を入れ引っ張るだけで靴下が履けるんです！

### 片手に麻痺のある方や 薬の袋を一人で破れない…



クリップに薬袋を挟み、あとは吸盤を机に固定するだけ！  
片手でもはさみや手で薬袋をちぎれるよ！

### 爪が切れない… そんな方にはこれ!!



指先の力が弱い方などに使用します。爪切りを固定し、手のひらで押して切ることができます。

# 作業療法に活かす ～福祉用具プランナーとして～



株式会社フロンティア 大分営業所  
作業療法士

まつもと なほ  
松本 奈穂氏  
*Naho Matsumoto*

- 今回は福祉用具貸与・販売事業所で働いている作業療法士 松本奈穂氏に話を聞きました。

## Q1. 福祉用具貸与・販売事業所で働こうと思ったきっかけを教えてください。

A 私は以前、病院の回復期病棟で働いていました。そこで退院に向けて住宅訪問や家屋調査、担当者会議など積極的に行っていました。もちろん福祉用具の紹介をしていましたが、病院にある限られた福祉用具の中で、本当に正しい福祉用具を選定できているのかという疑問が湧いてきました。そこで、福祉用具プランナーの資格取得に挑戦し、より知識を深めたいと思いました。

さらに退院までは手厚い支援が行えていましたが、退院した後に患者さんの様子を知る機会は少なく、地域で生活する方により近い環境で仕事をしたいと思ったのがきっかけです。そんなとき、福祉用具を取り扱う事業所で作業療法士を募集していることを知り、チャレンジしてみようと思いました。



## Q2. 今までの経験を現在の職場でどのように活かしていますか？

A 作業療法士が福祉用具を取り扱う事業所で働くことは、疾患・障害・生活の幅広い視点から評価し、リスク管理を含めて、その方の最大限の力を発揮できる福祉用具を提案できることが強みだと思います。この職場で働くようになり、今まで知らなかったたくさんの福祉用具を知ることができました。さまざまな福祉用具の選択肢が広がっているなかで、その用具の特性を十分に理解した上でご利用者様に提案することができています。

### Q3. 実際にどのような働きをしていますか？

**A** 病院で働いているときに感じていた「退院後の生活の様子がわからない」ということは私だけでなく、ほとんどのセラピストが感じているということもわかってきました。そこで退院後の生活の様子を評価・フォローアップし、関係機関や担当セラピストにフィードバックをする取り組みを行っています。

入院中から関わることができれば、家屋調査への同行や退院前カンファレンスへ参加させていただき、患者さんの身体機能や生活の様子、リハビリの経過や退院後の注意点等を把握した上で、訪問を行うことができ、より具体的なフィードバックができるようになると考えています。時には弊社で行った家屋調査の結果を医療機関に情報提供し、退院に際しての問題点の解決や円滑な退院支援が行えるように協力していきたいと考えています。

また、実際にご自宅を訪問し、ご利用者の状態やご希望に合わせて福祉用具の選定・調整をしています。担当ケアマネジャーさんとも連携を図り、その方の疾患・障害・生活の情報を伺った上で選定を行うようにしています。家族や地域の支援者は、どのように介助をしてよいかわからず過介助となったり、恐る恐る関わっていることも多く、どの程度の活動は大丈夫なのか、リスク管理も含め使い方の指導や助言も具体的に行うようにしています。



### Q4. 今後の展望を教えてください。

**A** 医療と介護の連携が必要とされているなかで、まだまだ連携が取れていないのが現状です。病院での経験を活かしながら医療と地域の架け橋になっていきたいと考えています。退院後に使用する福祉用具を入院中から使用することで、退院後の環境変化でのADL低下を防ぐことが出来ます。そのためにも入院中から福祉用具の選定を担当セラピストと協力して行い、スムーズに退院につなげていけるよう努めたいと思います。

また、様々な地域に出向いて行くと、地域格差や環境の違いに気付かされることがあります。どのような地域でも生活機能が低下することなく生き生きと暮らせるよう支援していきたいと思えます。地域ケア会議※などにも積極的に参加していきたいです。

#### ※地域ケア会議

市町村や地域包括支援センターが主催する会議で、医療や介護分野など多職種の支援者が協働して高齢者が地域で生活する上での課題の解決を図るとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高めることを目的として開かれています。

## PROFILE



まつもと なほ  
**松本 奈穂**

2008年 大分リハビリテーション専門学校卒業  
2008年 明野中央病院入職  
2015年 株式会社フロンティア 大分営業所入社

#### 勤務先

施設名：株式会社フロンティア 大分営業所  
所在地：〒870-0850  
大分県大分市賀来西1丁目5番16号  
電話：097-549-1584



## 医療法人 小寺会 佐伯中央病院

所在地：〒876-0851 大分県佐伯市常盤東町6番30号  
TEL 0972-22-8846 FAX 0972-22-8844

診療科目：内科、糖尿病内科、整形外科、脳神経外科、  
緩和ケア内科、リハビリテーション科、  
循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、  
形成外科、麻酔科

対象疾患：運動器疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患

病床数：一般病棟(59床)、地域包括ケア病床(15床)、  
回復期リハ病棟(58床)、緩和ケア病棟(17床)

リハビリテーションスタッフ：  
作業療法士(13名)、理学療法士(22名)、  
言語聴覚士(3名)、健康運動指導士等(4名)

関連施設：地域包括ケアセンター「佐伯の太陽」、  
介護老人保健施設「鶴見の太陽」、  
特別養護老人ホーム「彦岳の太陽」、  
診療所「彦陽クリニック」、「鶴見診療所」、  
「米水津診療所」



OT集合写真

### 施設紹介

美しい山々と海に囲まれ、日本一の清流、番匠川が流れる街、佐伯市。その自然豊かな街に佐伯中央病院はあります。本年3月には東九州自動車道が開通したことで、県内は全線開通となり、交通の利便性も格段に向上しました。当院は糖尿病を中心とする一般内科治療、リハビリテーション、緩和ケアとこれまでの医療体制に加え、整形外科・脳神経外科の新たな診療科を立ち上げ、更なる医療の充実を図っております。本年4月より二次救急医療機関に加わり、6月には地域包括ケアセンター「佐伯の太陽」を開設し、これまで以上に医療・介護・福祉を充実させ、地域の方々へ質の高いサービスを提供していきたいと考えています。

### テーマ：環境調整や福祉機器を使用している事例紹介

当院では、患者様の自宅退院後の日常生活動作(ADL)を想定し作業療法を行うために「ADLシミュレーター」を導入しています。これは患者様の自宅に近い環境を作るため、また手すりなどの住宅改修を検討するために使用されます。

例えば脳卒中の方の入浴動作においては、浴槽をまたぐ際にバランスを崩したり、足の引き上げが困難となりやすいため、シミュレーターで浴槽に入る手段の検討を行います。またより安全に動作を行うために、簡易手すりやシャワーチェア、浴槽台などの福祉用具を使った練習を行います。入浴は、もちろん「体を清潔に保つ」意味がありますが、それ以上にお風呂に入ること自体を「楽しみ」にしている方は非常に多くいらっしゃいます。そういった患者様の想いを大事にした作業療法を行っています。



バスボード移乗



立位での移乗



高さ調整後の立位での移乗



浴槽内環境設定



記事担当者／緒方 貴裕



## 臼杵市医師会介護老人保健施設 南山園

所在地：〒875-0042 大分県臼杵市大字海添250番地  
TEL 0972-62-8151 FAX 0972-62-8152

介護老人保健施設：86名

通所リハビリテーション：40名

介護予防通所リハビリテーション：20名

リハビリ職員数：6名(うち作業療法士2名、理学療法士4名)

関連施設：臼杵市医師会立コスモス病院、  
訪問看護ステーションコスモス、  
コスモス介護支援センター、  
コスモスケアステーション、  
地域包括支援センターコスモス、  
市民健康管理センター



リハスタッフ

### 施設紹介

当施設は平成8年6月に開設、平成22年10月には、臼杵市医師会介護老人保健施設南山園として再出発しました。地域中核病院であるコスモス病院をはじめ、各関連施設や行政、他事業所との連携により在宅生活支援に取り組んでいます。今回は通所リハビリテーションの紹介をします。ここではご利用者が一日を通して活動的に過ごせるよう運動を中心とした個別・集団プログラムを実施しています。また生活課題やそれを克服するため積極的に自宅訪問(年間150件以上)を行い、カンファレンスなどを通じ関係者に情報提供していることも特徴の一つです。生活課題は様々ですが必要に応じて福祉用具の選定を行っています。

### 事例紹介

Aさんは進行性の病気であり、利用開始時は掃除や洗濯など主婦としての役割をされていました。しかし病気の進行に伴い歩くことが困難となり車椅子の生活となりました。「トイレだけは自分で行きたい」との想いを聞き車椅子の練習をしましたが上手くいきません。そこで福祉用具貸与事業所に連絡し、Aさんの体、自宅の環境に適した半オーダーメイドの車椅子を提供しました。これにより自走ができトイレにも行けるようになりました。病気の進行はAさんのできることを奪ってしまいますが、こうした代償手段によって再び取り戻せることもあります。今後もご家族やAさんに関わる様々な方々と連携し、Aさんの在宅生活を支えていきたいと思えます。



ご本人、関係者が集まって行うカンファレンスの様子



自宅訪問で目標としていた階段を上る様子



運動を行っている様子



福祉用具貸与事業所との車椅子調整の様子



記事担当者／真田 康孝



# 作業療法 啓発普及活動の紹介

＊2015年5月～11月＊

大分県作業療法協会では、県民の皆様の健康や福祉に寄与できるよう作業療法の啓発普及に努め、様々な事業に取り組んでいますのでご紹介いたします。



## 城下カレイ祭り

開催日:平成27年5月17日(日)

場 所:日出町

活動内容:くす玉作り、福祉用具体験、  
障がい体験

参加いただいた方々の笑顔が見られ、私たちも楽しい時間を過ごすことができました。



## センターまつり& げんきフェア2015

開催日:平成27年11月1日(日)

場 所:大分県社会福祉介護研修センター

活動内容:フラッグ作り、プラ版作り

作業を通して作業療法の説明を行うことができました。



## 作業療法フェスタ2015

開催日:平成27年8月30日(日)

場 所:パークプレイス

活動内容:パネル展示、作業療法  
クイズ、うちわ作り

パネルを展示し多くの見学者に健康増進の必要性を啓発することができました。



## 大分大学開放イベント

開催日:平成27年11月1日(日)

場 所:大分大学

活動内容:フラッグ作り

就職を控えた子どものことを考えている家族からの質問が多くありました。



## ふるさとまつり

開催日:平成27年11月8日(日)

場 所:豊後大野市三重町

大原総合体育館

活動内容:うちわ作り、作業療法クイズ、興味関心チェック  
リストによるアンケート

「今年も来たよ」と声を掛けて頂き、継続して参加する事の重要性を確認することができました。



## リレーフォーライフ

開催日:平成27年10月10日(土)～11日(日)

場 所:大分スポーツ公園広場

大芝生広場

活動内容:リレーウォーク、  
応援フラッグ作り

スタートからゴールまで無事にリレーを継続することが出来ました。



## 日田市市民健康福祉まつり

開催日:平成27年10月11日(日)

場 所:パトリア日田

活動内容:フラッグ作り

幅広い年齢層の方々に参加して頂き作業療法を知って頂く良い機会になりました。



## さいき交通安全フェスタ

開催日:平成27年10月25日(日) 8:30～15:00

場 所:佐伯自動車学校

活動内容:プラ版作り

作業の楽しさや特性を説明し作業療法について知って頂く良い機会になりました。



## ジョブカフェ大分

開催日:平成27年11月12日(木)

場 所:大分県立別府翔青高等学校

内 容:講義『作業療法士とは?』

多くの高校生が「作業療法士」に関心を持ち、聴講して頂きました。



## もみじ祭り

開催日:平成27年11月23日(月)

場 所:臼杵市 白馬溪もみじまつり

活動内容:フラッグ作り

地域の方と交流が図れ、作業療法の啓発が行えたと感じました。



# 九州理学療法士・作業療法士合同学会 2015 in 大分

「九州理学療法士・作業療法士合同学会2015 in大分」の企画・運営にあたって  
事務局長 佐藤 暁(井野辺病院)



- 開催日時：平成27年11月14日(土)・15日(日)
- 開催場所：B-Con Plaza (別府国際コンベンションセンター)
- 参加者数：1,432名(運営スタッフ268名除く)

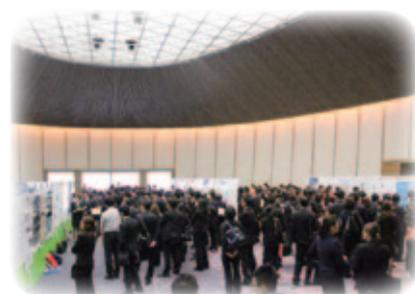
平成27年11月14日・15日、B-Con Plaza(別府国際コンベンションセンター)にて、「九州理学療法士・作業療法士合同学会2015」を開催しました(29回の会議を重ね学会当日を迎えました)。1,432名(運営スタッフ268名除く)という多くの方にご参加いただき、盛会に終了することができました。学会開催にあたり、公益社団法人大分県作業療法協会の協会の皆様には運営スタッフとしてご協力いただき誠にありがとうございました。

約2年前に準備委員会を立ち上げ、「社会情勢が変化中、自分たち(理学療法士・作業療法士)は変化にどう取り組んでいかないといけないのか」という問いから、大会テーマを「Life～未来を切り拓く力～」とし、様々な議論を重ねてきました。その結果、講師には、地域の中で活躍している理学療法士・作業療法士を招聘し、シンポジウム形式での講演をお願いしました。参加者からは「各々の専門的な取り組みが理解できました」「地域の中で何ができるか考えるきっかけになりました」等の肯定的意見が聞かれ準備委員一同安堵いたしました。

また、今回の学会では2つの新たな取り組みを行いました。1つ目は、優秀演題の選出と表彰です。これには準備委員会の予想を上回るエントリーと330演題の発表につながりました。2つ目は、談話室の設置です。設置目的は発表終了後に発表者と座長がディスカッションできる場を設け、相互の研鑽を促すことです。当日は、どこの談話室でも活発な討論が繰り広げられていました。

今回の学会では、大分県内の「理学療法士」と「作業療法士」の抜群のチームワークで、大分らしい大会が開催できたのではないかと思います。

最後に、「九州理学療法士・作業療法士合同学会2015」に携わっていただいた(運営スタッフ・発表者・準備委員など)全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 「観念のメガネ」

篠原 美穂

(杵築市立山香病院)



私の仕事(作業療法)では、障害や高齢で不便になった日常生活を立て直すためにご本人やご家族の思いを聞き出しながら動作を練習したり住宅改修などの環境調整を提案しています。もちろん私一人でできることではなく、同僚、他の専門職、他の施設の人などとの連携が欠かせません。そこで心がけているのはコミュニケーションギャップに注意することです。

例えばご本人やご家族との間で「説明したのに」や「そういうことは言っていなかったのに」ということが起きます。同僚や上司、他の専門職の方とは「言ったはずなのに」「そんなつもりで言っていない」ということがあると気まずくなります。このように私と相手が持っている情報のギャップに出あうたびに「観念のメガネ」の存在を意識します。

観念のメガネとは経験や体験を通じて身につけたその人特有のものの見方や考え方です。自分も相手もこのメガネ越しに物ごとを見ているので自分が伝えたいことの100%が相手には伝わらないのです。これはコミュニケーション能力2級認定講座(日本コミュニケーション能力認定協会)で学びました。この講座ではお互いの信頼関係を築くために、伝える、訊ねる、相手を価値ある存在と認めるといった技法を練習しました。その技術を体得したとはいえませんがメガネの曇りに惑わされずに自分の意図通りに伝える、相手の意図通りに受け止めることができるようにコミュニケーションを修行中です。

# 活動報告 2015年11月▶2016年2月

## センターまつり&げんきフェア2015作業療法コーナー設置

日 時：11月1日(日) 10:00～15:30  
場 所：大分県社会福祉介護研修センター  
内 容：フラッグ作製、プラ板作製体験コーナー  
パンフレット配布

## 大分大学開放イベント 作業療法コーナー設置

日 時：11月1日(日) 9:00～14:00  
場 所：大分大学  
内 容：フラッグ作製、プラ板作製体験コーナー  
パンフレット配布

## 「春日まつり」作業療法ミニフェスタ in 大分西

日 時：11月8日(日) 8:30～14:00  
場 所：王子中学校 体育館  
内 容：フラッグ作製 作業療法相談コーナー  
パンフレット配布

## 「ふるさとまつり2015」作業療法ミニフェスタ in 豊後大野市

日 時：11月8日(日) 10:00～14:00  
場 所：豊後大野市 大原総合体育館サブアリーナ  
内 容：作業療法体験、作業療法相談コーナー  
パンフレット配布

## ジョブカフェおおいた 職業人講話

日 時：11月12日(木) 12:30～16:30  
場 所：大分県立別府翔青高等学校  
内 容：「作業療法とは何か」

## 「もみじまつり」作業療法ミニフェスタ in 臼杵

日 時：11月23日(月) 10:00～13:00  
場 所：臼杵市前田(白馬溪)  
内 容：フラッグ作製、作業療法相談コーナー  
パンフレット配布

## 臨床実習指導者育成道場

日 時：第1回 平成27年11月29日(日) 10:00～15:00  
第2回 平成27年12月10日(木) 19:30～21:30

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：第1回

- ① 臨床実習とは何か  
講師：後藤 英子  
(常務理事／大分リハビリテーション専門学校)
- ② 臨床実習指導方法論 ～理論と実践～  
講師：洲上 祐亮  
(教育研修部長／大分豊寿苑)
- ③ 近年の学生の傾向 臨床実習における最低基準  
(養成校の立場から)  
講師：藤原 肇  
(常務理事／藤華医療技術専門学校)
- ④ クリニカルクラークシップ ～基本的な考え方～  
講師：村田 健太  
(地域研修部長／湯布院病院)

第2回  
学生指導の事例を通じたグループワーク

## 管理運営に関する研修会

日 時：平成27年12月20日(日) 9:30～12:10  
会 場：コンパルホール  
内 容：① 作業療法士の職業倫理  
講師：衛藤 博文  
(有識者理事／元大分県議会事務局長)  
② リスクマネジメントについて～RCA分析～  
講師：日隈 武治  
(副会長／大分リハビリテーション専門学校)

## 制度対策研修会

日 時：平成27年12月20日(日) 13:00～16:30  
場 所：コンパルホール  
内 容：「平成27年度介護報酬改定を受け作業療法士の在り方を考える」

### ① シンポジウム

「各施設の新加算算定への取り組みと現状」

講師：大塚 千枝  
(サンテラスながとみ)

平野 政治  
(理事／明和記念病院)

谷口 理恵  
(大分豊寿苑)

日隈 武治  
(副会長／大分リハビリテーション専門学校)

### ② 講義

「制度の改定を受けて、  
今後、作業療法士としてすべきこと」

講師：日隈 武治  
(副会長／大分リハビリテーション専門学校)

## 第2回 スポーツ大会

日 時：平成28年1月9日(土) 13:30～16:30  
場 所：大分県立総合体育館  
内 容：① 会員交流イベント シットイングバレーボール  
② ユニバーサルスポーツ・パラリンピック競技体験会  
車いすマラソン体験ブース、スラローム体験ブース

## 第19回 大分県作業療法学会

日 時：平成28年1月24日(日) 9:30～16:00  
場 所：ホルトホール大分  
内 容：「地域の「力」～地域で必要とされる  
作業療法士になるために～」

特別講演：「地域包括ケアの実現に向けて  
～作業療法士への期待～」

講師：村井 千賀  
(厚生労働省老健局老人保健課課長補佐 作業療法士)

### ワークショップ：

生活行為向上マネジメント実践編

講師：佐藤 友美

(日本作業療法士協会 生活マネジメントプロジェクト  
推進委員／湯布院病院)

\* 実践報告者他3名

一般演題：27題 \* 天候不良の為、当日23題発表

## 西春日サロン 作業療法出張講座

日 時：2月18日(木) 10:30～11:30  
場 所：西春日公民館  
内 容：作業療法と排尿について



原画作者者：神谷輝子(長門記念病院)



居宅介護支援事業所勤務

作藤 暁

現在は「直接的(生活課題の改善)に生活を支援する作業療法士」と間接的(マネジメント)に生活を支援する介護支援専門員(ケアマネジャー)の二足のわらじで働いています。作業療法士の基礎資格で介護支援専門員(ケアマネジャー)就任の方は多くはありません。しかし、作業療法士の強みを最大限活かすことで、介護支援専門員(ケアマネジャー)の業務を行う上で強みになります。直接的・間接的の両方向から生活を支援できることは大きな可能性を秘めています。生活を支援するということは答えがありません。なぜなら一人ひとりの生活が違ふからです。よって可能性は無尽大です。対象者の「その人らしい生活」を達成できるよう直接的・間接的支援の日々仕事に取り組んでいます。

可能性は無尽大



介護老人保健施設勤務

佐藤 友美

年をとっても、体に不自由があっても、認知症であっても、本当に「したいこと」があり夢中になると、活力に満ち笑顔があふれることを何度も経験しました。私は、対象者とそのご家族の暮らしの困りごとを解決することと共に、対象者が心から「したい」と望むことを丁寧に聞き、あらゆる方法を考え、一緒に実現に向けて取り組むことを信条としています。

「したいこと」を夢中になって行える喜びのために



脳卒中センター勤務

細川 祐司

私は現在、回復期リハビリテーション病棟にて脳卒中を患った方々に対して作業療法を行っています。患者さんは片麻痺・高次脳機能障害によって身の回りのことがしにくくなり、病気によって様々な不安を抱えたりしながら日々リハビリに励んでいます。その人らしい人生が送れることを常に考え、患者さん一人ひとりに合わせた支援を他職種と協力して取り組んでいます。

その人らしい人生を常に考えて



リハビリテーション病院勤務

浅倉 恵子

「幸福とは」…人に①愛されること、②褒められること、③役に立つこと、④必要とされることだそうです。人は、仕事=作業をすることで幸福を感じます。それは、単に就労することだけでなく家事、孫の世話、職場の手入れ、地域の集いなどいろいろな作業が存在します。私たち作業療法士は、年齢、疾患、障がいに関係なく、作業を再獲得したり、新たな作業の場を発見するために、対象者の方と協力してリハビリテーションに励んでいます。

幸福とは…

# 作業療法士の想い



療育センター勤務

越智 絵里子

私は、主に脳性麻痺や自閉スペクトラム症、注意欠陥・多動症などの発達障がいのお子さんに関わっています。楽しめる遊びを提供しながら、運動や手先の練習、着替えやお浴などの日常生活動作、学校の先生に対し、見への間わり方を助言したり、環境の工夫について一緒に考えていきます。お子さんたちが「できた」という達成感を得ることで自信を持ち、生き生きと過ごせるようになることを目指しています。

「出来た」という達成感を得るために  
お子さんたちが



訪問看護ステーション勤務

野上 可奈子

私は現在、訪問看護ステーションで訪問リハビリテーションを行っています。対象者は主に神経難病や癌の終末期の方々が多く、自宅に訪問リハビリテーションの多くは医療的な管理が必要で、他職種と密に連携をとりながら、在宅生活を支援していきます。住み慣れた地域で、自分らしく安心・安全に暮らせるよう、日々対象者の方々と向き合っています。

他職種と連携をとりながら在宅支援を



作業療法士養成校勤務

鳥越 克志

私は作業療法を学んでいる学生にはいつもこのように伝えています。ただ「やりがいがある」というだけではありません。そこには大きな責任も伴います。対象者の人生に関わるということは、それができるだけの知識・技術・経験、そして「心」が必要です。私も昨年までは病院で対象者と関わっていましたが、今は作業療法士を育成する教員として、知識・技術の習得を促すとともに、様々な経験を通して豊かな「心」を育むことを目標に学生と関わっています。

作業療法士は対象者の「人生」に関わるやりがいのある仕事です

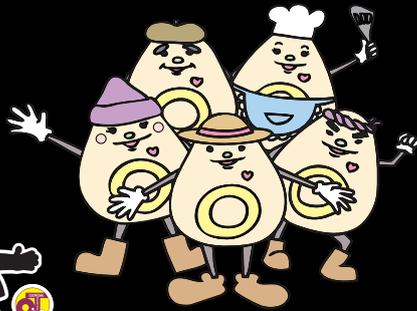


精神科病院勤務

梅田 大樹

私は現在、精神科病院に勤務し、入院患者さんを対象に作業療法を行っています。こちらの病室を持つ患者さんの多くにマイナス思考による不安や自信の低下が見られ、それらがまたマイナス思考を増強させるという悪循環を起こしています。適切な作業活動や人との関わり場の提供し、寄り添いながら「出来ること」や「他者の役にたっていること」を伝えるなど、患者さんにとってより良い体験となるよう支援を行い、主体的な生活の獲得を目指しています。

主体的な生活の獲得を目指して



リハビリテーションのことや、作業療法のことでも分からなかったり、お困りのことがありましたら、右記までご連絡ください。

公益社団法人 大分県作業療法協会  
〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル  
TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663  
<http://www.oita-ot.com>

●本誌に掲載している写真については、すべてご本人・施設の了承を得ています。